





・ 警察が聴取している乾熱殺菌可能という話は、すべて理論上の話であり、実際にやっているユーザーはいない。

等の理由で、該当とは言えないとの意見に割れており、完全に平行線になっている。

- (2) 大川原社の輸出先を確認したが、需要者に懸念はあるものの、METI は用途によって許可不許可を決定している。大川原社の輸出先に関して調査したところ、いずれもセラミック用途等、生物兵器の懸念ではないことから、許可する可能性があり、警察ほどの懸念を METI は感じていない。(強制的な権限が METI にはないことから、グレーは許可せざるを得ない。)
- (3) 最後は、METI の決めの問題だが、本件省令には不備があり、今後、省令改正の提案、解釈の変更、AG への提案等をしていく必要も感じている。
- (4) 殺菌実験について 12/20、21 を予定している旨及び実験方法を説明したところ、「実験をやめてほしい (200 万円もの予算をかけたとなると警察もただでは引かなくなるとの懸念から)」という本音を感じられたが、来週中に管理課長、補佐、安検室長と実験の是非についても詰める。

との回答があった。

#### 6 その他

■ 上席が「警察班として、警察の対応に不信感を持っている。警察の報告書と調査員、メーカー等からの聴取結果を比較して、警察が都合の良い事実のみを METI に伝えているのではないかと感じるが多々あった。」と激昂する場面があった。